

医療法人社団そよかぜクリニカルラダー

レベル	I 0～1年	II 1～3年	III 3～5年	IV 5～10年	V 10年以上	
レベルごとの定義 1. 外来 2. 内視鏡 3. 訪問	1.基本的な看護手順に従い必要に応じ助言を得て看護を実践する 3.助言を得ながら訪問業務の流れや看護実践を知る	1.自立して看護を実践する 2.内視鏡業務の流れを知る 3.自立して患者を取り巻く環境や情報を看護につなげることができる	1.患者に合う個別的な看護を実践する 2.内視鏡検査介助の補助ができるようになる 3.患者に応じた個別的な在宅援助ができる	1.幅広い視野で予測的判断を持ち看護を実践する 2.内視鏡検査の主介助者として業務に携わることができる 3.先を見据えた患者援助ができる	1.より複雑な状況において、患者にとっての最適な手段を選択し適切な看護を実践する 2.内視鏡検査の業務管理ができる 3.在宅業務管理ができる	
ニーズをとらえる力 行動計画	外来	・外来診療の流れがわかる ・助言を受けて優先順位を考慮することができる	・個別性を配慮した意図的な情報収集ができる ・必要な情報をチームメンバーに伝達できる	・重症患者をトリアージすることができる ・報告すべき情報の取捨選択ができる	・包括的な情報収集ができる	
	内視鏡		・内視鏡が必要な病態を理解できる	・検査に対する患者の不安を理解できる	・検査中の患者の状態把握、不安感をとらえることができる	
	訪問	・助言を受けながら、家族構成や環境等、訪問のための情報収集ができる ・患者の状況から緊急度をとらえることができる	・自立して患者や家族、多職種から情報収集ができる ・患者の状態から、自分で対応できるかを判断することができる	・情報の中の優先度を考えることができる	・収集した情報を統合し、ニーズをとらえることができる	・患者や家族の価値観に応じた判断ができる
ケアする力 行動計画	外来	・助言を受けながら処置室業務ができる	・問診担当ができる ・自立して処置室業務ができる ・指示を受け緊急事態に対応できる ・助言を受けながら外科診察補助ができる	・リーダー業務ができる ・緊急事態の状況判断ができ対応できる ・自立して外科外来診察補助ができる	・リーダー業務をフォローしアドバイスすることができる	・最新の知見を取り入れた創造的な看護を実践する
	内視鏡		・上部内視鏡、内視鏡の流れがわかる ・内視鏡物品の場所を理解できる ・内視鏡の構造、設備について理解できる ・内視鏡業務の流れがわかる	・患者に対して検査の目的、流れ、検査後の説明ができる ・上部内視鏡の前処置ができるようになる ・患者へ上部内視鏡の検査中の注意事項の説明ができる ・内視鏡検査介助の看護師とともに検査中の看護ができる 【検査前の不安を和らげることができる】	・内視鏡部門の感染対策について理解できる ・内視鏡洗浄機の使用方法が理解できる ・一時洗浄も含め内視鏡洗浄がひとりで出来るようになる ・デバイスの使用方法を理解し内視鏡の主介助ができるようになる ・光源装置の使用方法が理解できる ・スコープの取り扱いについて理解できる ・スコープの準備、後始末ができる ・検査管理日誌の記録ができる ・電子カルテ、記録物、伝票の整理ができる 【検査中の患者の不安を和らげ、一人で内視鏡看護ができる】	・内視鏡技師免許を取得することができる ・リーダーとして内視鏡検査に携われる ・検査歴の振り返り先思考を読むことができる
	訪問	・指導を受けながら、在宅の場で患者に基本的援助ができる ・助言を受けながら待機当番ができる	・訪問診療の補助ができる ・自立して訪問看護ができる ・安全な運転ができる	・患者の個別性に合わせて療養上のアドバイスができる ・ケアの方法に、在宅ならではの工夫ができる ・急変時の対応ができる	・他者に指導できる ・予測的及び予防的な看護ができる	・単位、点数を見ながら訪問予定が立てられる ・人員配置、配車ができる ・介護事務について理解している ・リーダーとして訪問業務に携われる
協働する力 行動計画	外来	・関係者と情報共有ができる	・自分で判断できないときは相談できる ・他者の意見を傾聴しチームワークを保つことができる	・チームのリーダー的役割を果たし、チームワークを築くことができる ・診療所間の連携をとることができる ・他医療機関と連絡を取ることができる	・患者を取り巻く多職種の力を調整し連携できる	・リーダーとしてスタッフに適切な指示ができる ・患者により良い治療提供ができるように連携できる
	内視鏡				・技師学会、研究会に積極的に参加し先進知識の収集を行う	・内視鏡看護の教育、指導ができる ・内視鏡検査の業務管理ができる ・緊急時の対応を理解し、指導ができる ・業者との連絡、交渉ができる
	訪問	・在宅医療とはどういうものかを理解する ・当院の在宅医療システムがわかる ・介護保険の概要を知る ・連絡、報告、相談ができる	・患者のケアに必要な関係者を特定できる ・外部の関係者とコミュニケーションをとることができる	・患者や家族とケアについて意見交換できる ・積極的に多職種に働きかけ、協力を求めることができる	・退院カンファレンス、担当者会議への参加、ケアとサービスの調整ができる ・訪問予定が組める ・在宅医療の説明、契約ができる	・多職種連携が十分に機能するよう調整的役割を担う事ができる
意思決定を支える力 行動計画	外来	・患者や家族とコミュニケーションが取れ意向を知ることができる	・自立して、患者や家族の意向を看護に活かすことができる	・必要な患者に検査や治療の必要な医療情報を伝えることができる ・必要な社会資源の情報を伝えられる	・患者や家族の意思決定に伴う迷いを共有でき、選択を尊重できる	・患者や家族が意思決定を行う際に、十分な情報を確実に得られるよう配慮調整できる
	内視鏡				・検査を受けるメリット、デメリットを説明できる	・疾患の予後、患者の経済力を考慮し助言できる
	訪問	・助言を受けながら、患者や家族の思いや考え、希望を知ることができる	・患者や家族の思いや考え、希望を自発的に確認することができる ・確認した思いや考え、希望をケアに関連づけることができる	・患者や家族の意思決定に必要な情報を提供できる ・患者や家族の考えの違いが理解できる ・患者や家族の考えの違いを他職種に代弁できる	・患者や家族が意思決定を行う際に看護師の立場で参加し、適切な看護ケアを実践できる	・適切な社会資源を積極的に活用し、患者や家族の意思決定プロセスを支援できる